

川内川の洪水等に関する防災情報体系が見直されました

改善前 → 改善後

水位	レベル	水位	町・住民に求める行動
はん濫の発生 計画高水位 危険水位	5 4 (危険)	はん濫の発生 はん濫危険水位 <small>堤防の決壊など重大な災害発生 の恐れがある水位です。</small>	<ul style="list-style-type: none"> 逃げ遅れた住民の救援等 新たにはん濫が及ぶ区域の住民の避難誘導 住民の避難完了
特別警戒水位	3 (警戒)	避難判断水位 <small>避難行動を行う目安となる水位です。</small>	<ul style="list-style-type: none"> 町は避難勧告等の発令を判断 住民は避難を判断
警戒水位	2 (注意)	はん濫注意水位 <small>避難行動の準備を行う目安となる水位です。</small>	<ul style="list-style-type: none"> 町は避難準備情報発令(要援護者避難情報)を判断 住民ははん濫に関する情報に注意 水防団出動
通報水位	1	水防団待機水位 <small>水防団が水防活動を行うために待機する水位です。</small>	<ul style="list-style-type: none"> 水防団待機

■洪水時の避難ポイント

洪水の中の移動はとても危険です。洪水の中を歩かなくてすむよう早めの避難を心がけてください。やむを得ない場合は、次のことに注意して安全に避難してください。

① 歩ける深さ

歩ける深さは男性で約70cm、女性で約50cmまで(平地で流れのない場合)。水深が腰まであるようなら無理は禁物。高所で救援を待ちましょう。

② はき物

裸足・長靴は禁物。ひもで締められる運動靴がよい。

③ ロープでつながって

はぐれないようにお互いの体をロープで結び、一列になつて避難しましょう。

特に子供から目を離さないように。

④ 足下に注意

水面下にはどんな危険が潜んでいるのかわからない。長い棒を杖がわりにして安全を確認しながら歩くこと。

⑤ 子どもやお年寄りを安全に

お年寄りや病人などは背負う。幼児は浮き袋、乳児はベビーカーを利用して安全を確保する。

■土砂災害の前触れ

土砂災害の前触れにはいくつかの特徴的な前兆現象があります。前兆現象に気づいたときは、建設課又は総務課へ連絡し、速やかに安全な場所へ避難をしてください。

〔土石流〕

- 山鳴りがする。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。
- 川の水が急に濁ったり、流木が混ざり始める。
- 腐った土のにおいがする。

〔がけ崩れ〕

- がけから水が湧き出してくる。
- がけに亀裂が入る。
- がけから小石がばらばら落ちてくる。
- がけから木の根が切れる等の異様な音がする。

〔地すべり〕

- 沢や井戸の水が濁る。
- 地面にひび割れができる。
- 斜面から水がふき出す。
- 家やよう壁に亀裂が入る。
- 家やよう壁、樹木や電柱が傾く。

■災害時の問い合わせ先

さつま町役場 ☎ 53・1111

○避難所に関すること

・建設課 内線 2215

○土砂災害に関すること

・建設課 内線 2253

・総務課 内線 2215

○環境衛生に関すること

・環境課 内線 2127

・さつま町環境センター ☎ 53・0013

・さつま町クリーンセンター ☎ 53・3111

○道路交通に関すること

・建設課 内線 2254

・県北薩地域振興局建設部 ☎ 23・5151

○停電に関すること

・九州電力(株)川内営業所 ☎ 0120・986・802

(コールセンター)